

# 議会からのたより



主な記事

- ◆議会の主な動き ◆第1回議会定例会 ◆町長からの行政報告
- ◆第2回議会臨時会 ◆平成30年度各会計予算審査特別委員会
- ◆議員出席状況 ◆あとがき

発行：遠別町議会

編集：議会報発行特別委員会

## 議会の主な動き

(H30.2月～H30.4月まで)

- 2月1日 第1回議員全員協議会開催  
市町村長と市町村議会議長との意見交換会出席のため議長苫前町に出張
- 2月14日 第1回議会運営委員会開催  
第2回議会全員協議会開催  
第2回議会運営委員会開催
- 2月15～16日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会及び北海道町村議会議長会理事會出席のため議長札幌市に出張
- 2月23～24日 北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会出席のため議長札幌市に出張
- 2月26日 第3回議会全員協議会開催
- 2月27日 留萌管内町村議会議長会臨時総会出席のため議長羽幌町に出張
- 2月28日 西天北五町議長連絡協議会に議長出席
- 3月1日 遠別農業高等学校第65回卒業証書授与式に副議長出席
- 3月12日 遠別中学校第71回卒業証書授与式に副議長出席
- 3月14日 第4回議会全員協議会開催
- 3月21日 遠別小学校第117回卒業証書授与式に議長出席
- 3月29日 第5回議会全員協議会開催
- 4月5日 オロロン農業協同組合通常総代会に議長出席
- 4月6日 遠別小学校入学式に副議長出席  
遠別中学校入学式に副議長出席
- 4月10日 遠別農業高等学校入学式に議長出席
- 4月17日 第6回議会全員協議会開催  
第2回議会報発行特別委員会開催

## 第1回定例会

3月7日～14日

第1回定例会を3月7日から14日まで8日間を会期として開催し、定期監査報告、平成30年度町政執行方針、教育行政執行方針、各会計予算案の概要についての説明を受け、一般質問は、小森議員、寺崎議員の2名が行い、平成29年度各会計補正予算、条例の制定・部改正、副町長の選任、教育委員会教育長の任命について審議し、可決しました。また、平成30年度各会計予算については、予算審査特別委員会に付託し、本会議において承認し、3月14日に閉会しました。

## 主な審議事項

- ◆遠別町保健福祉職等職員修学資金貸付及び就労奨励金交付条例の制定について
- ◆遠別町税条例の一部改正について
- ◆遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター条例の制定について
- ◆遠別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆遠別町国民健康保険給付調整基金条例の一部改正について
- ◆遠別町国民健康保険条例の一部改正について
- ◆遠別町介護保険条例の一部改正について

## 主な補正予算

- ◆遠別町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定について 外関連条例の一部改正について
- ◆遠別町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 【一般会計】
  - ・遠別町まちづくり応援基金積立金 10,000千円増
  - ・林道専用道（規格相当）作設工事 40,050千円新規
- 【下水道特別会計】
  - ・特定環境保全公共下水道雨水管渠布設工事 50,043千円増

## 報告

- ◆平成29年度定期監査報告
- ◆専決処分報告について
- ・工事請負契約の変更（公営住宅建設工事の設計変更による）

## 同意

◆副町長の選任について  
投票による採決が行われ、富士原栄治氏（61歳）が選任された。

◆教育委員会教育長の任命について  
投票による採決が行われ、佐藤裕昭氏（60歳）が任命された。

## 意見案

意見案は3月14日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付された。

◆地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書について

提出者 寺崎邦昭議員  
賛成者 中村光年議員 木村秀雄議員

## 決議案

◆高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否する決議について

提出者 寺崎邦昭議員  
賛成者 中村光年議員 木村秀雄議員

## 町長からの行政報告



### アクティブシニア 多世代拠点交流センターの 愛称決定について (第1回定例会)

アクティブシニア多世代拠点交流センターが町民の皆さんに末永く愛されるところにも高齢者を中心として多世代が触れ合うことのできる環境を作り、広く活用していただけるよう愛称を町民の方々に募集したところ、10件の応募があり、選考の結果、本町1丁目 伊藤亜希子さんの作品「なごみ」に決定いたしました。愛称の募集につきましては、昨年12月発行の「広報えんべつ」に応募紙を折り込みし、1月末までに受付を行い、2月13日に副町長を委員長に、社会福祉協議会長、老人クラブ連合会会長、民生委員児童委員協議会会長、総務課長、福祉課長で組織した選考委員会で協議をいたしました。短い言葉の中で、

第6期遠別町総合計画基本計画のテーマであります「人のつながりから生まれる笑顔あふれるまちづくり」を感じ取られ、また、小さな子どもからお年寄りまで発音が容易で、やさしく覚えやすい語調の愛称であり、とても好感が持てるものと感じております。今後、広報紙やホームページで、広く周知するとともに、オープン時には、伊藤亜希子さんに、記念品等を贈呈したいと考えております。

### 野々村副町長の辞任について (第1回定例会)

野々村前副町長から昨年末に、私の方に辞職願が提出され、内容を確認しましたところ平成30年3月6日付けにて辞職したいというものでありました。まだまだ、私を助けていただいて、副町長を続けてもらいたいという事で慰留をしたのですが、本人の辞職の意思が固く、更には今年度末で退職する課長職が何人もいるという事で、後進に道を譲るという強い思いの中で辞職願が提出されたということでございます。このことについては慰留も叶わず、結果的に辞職を認めて、平成30年3月6日付けで辞職をしたという経過でございますので、ここに報告をさせていただきます。

## 平成30年度遠別農業高等学校 2次募集結果について (第2回臨時会)

遠別農業高等学校の2次募集の出願につきましては平成30年3月23日まで行われ、1名の出願がありましたので、平成30年度の入学予定者は26名となっております。第1回定例会で教育委員会からの行政報告にありましたが、私としても教育委員会、遠別農業高等学校教育振興会、遠別農業高等学校と連携し、今後も同校の魅力と遠別町の様々な支援を積極的にPRし、生徒確保に努めて参ります。

## 第2回臨時会 3月29日

第2回臨時会を3月29日に開催し、平成29年度補正予算2件、平成30年度補正予算1件の合計3議案が提案され、原案通り可決しました。

## 主な補正予算

- 【平成29年度 一般会計】  
・町道除排雪業務委託料 83, 877千円増
- 【平成30年度 一般会計】  
・学校給食配送業務委託料 1, 617千円新規

# 3月定例会 「一般質問」



をしていくべきと考える。町長のお考えを伺う。

っていない。しかしながら、町立病院の建替えを計画するに当たっては、病院としての機能の在り方、建設場所等も含めて、平成30年度から2カ年計画で検討するため、協議会を設置したいと考えている。

ト等の調査をすべきと考えるが、町長のお考えを伺う。

## I 遠別町における包括ケアタウン構想について

**Q【小森議員】** 昨年10月に文教厚生常任委員会の道外所管事務調査で、山形県小国町の「保健、医療、福祉、介護の一元化」施設の視察調査を行った。平成30年の町政執行方針に病院施設の老朽化による建替えと在り方について検討を進めるとある。また、「遠別町生涯活躍のまち」構想の中に、「仕事」「出産・子育て」「医療・福祉」等、町内の全ての世代の生活を支えるインフラと社会システムなどについて一体的に整備を進めるとある。少子高齢化は人口推移予測においても明らかである。労働世代が減少の中、雇用環境や労働環境に改善を図る意味においても、保健・医療・福祉・介護の一元化の検討

**A【笹川町長】** 住み慣れた地域で自分らしい人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みを推進している。在宅療養では「治す医療」のみならず、その人らしく尊厳をもって生きられるよう「支える医療・介護」が重要となる。このことを進めていく上で何より必要なのは、「連携」であり、多様なサービス事業所間における医療・介護などに限らない「生活全般を基盤とした連携」が必要で、この連携がシステムとして機能していくことが求められている。そのため、町民同士や多世代の繋がり、互助の強化を図るため、現在、包括支援センターを中心に、様々な研修会等を開催し、住まい・医療・介護・予防・生活支援について取り組みを進めている。包括ケアタウン構想や雇用及び労働環境の改善や保健・医療・福祉・介護の一元化については、役場を中心として1.5 km以内に各種の施設があることから大きなタウン構想の考えは持

## II 若い世代との町づくり懇談会の開催について

**Q【小森議員】** すべての町内会で住民懇談会を開催し、町民の声を行政の取り組みとして進めた政策が数多くあったと思う。しかし懇談会においては若い世代の参加が少ないように感じた。今、町内の漁協青年部、商工青年部、農協青年部が合同の「青年部連携地域活性化実行委員会」を立ち上げ、イベント運営などに多種多様の協力をしている。若い世代が町に対し、様々な思いを描き、夢のあるまちづくりを進めようとしている。新しいまちづくりの思いについて膝を交えて語り合うことが必要と考えている。1点目として、各青年部など、若い世代との懇談会を開催すべきであると考えている。2点目として、夢のあるまちづくりのために、若い世代にアンケー

**A【笹川町長】** 私は行事等の機会を捉えて、行政に対する町民の皆様の声をお聞きするとともに本町における各種施策等の状況についても、その都度お知らせしてきた。また、過去2回実施した町民懇談会においても、町民の皆様の声を数多くいただき、施策に反映させてきたものと考えている。平成29年に地域青年層及び農商工水産団体の交流により、「青年部連携地域活性化実行委員会」が設立された。これまで各団体のイベントに連携参加するなど、力強く、頼もしく感じている。各種団体等、若い世代との懇談会の開催については、若者の自発的な活動を尊重し、参加要請があれば積極的に参加し、若い世代の生の声を聞きたいと考えている。2点目の若い世代に対するアンケートの実施については、懇談・交流の場における若い世代の生の声を積極的に聞き、その声を各種施策に反映させることが最も重要なことと考えているので、アンケートの実施については、現在のところ考えていない。



## I 補助金等交付規則制定

**Q〔寺崎議員〕** 当町では、産業関係団体、その他町長の必要と認めらる者で産業及び地域の振興を図るため、予算の範囲内で、補助金を交付するという振興補助規則で補助金の交付申請手続、補助金交付決定の形式を定めている。しかし、この遠別町振興補助規則は、第一次産業を中心に産業振興に限る条例となっている。そこで、町独自の補助金の交付申請、決定に関する事項を定めることにより、補助金が町税その他の貴重な財源で賄われていることに留意し、条例の定め及び補助金の交付目的に沿って誠実に補助事業を遂行し、公正かつ効率的な執行を図ることを目的とするため制定する必要があると考えている。規則制定の取り組みを強く要望し、町長の見解を伺う。

### A〔笹川町長〕

現在の振興補助規則は、第一次産業を主な対象とした補助規則となっており、商工業等の第二・第三次産業も補助対象としているところである。この振興補助規則の他に生活環境や会館等の整備に対し補助する「協働のまちづくり事業補助規則」、快適で良好な住環境整備促進を図るための「住宅リフォーム助成金交付要綱」、起業に向けた取り組みの支援である「起業化支援事業補助金交付要綱」、防災活動を行う上での必要な経費に対して交付する「自主防災組織運営交付金交付要綱」など、住民や町内会等、幅広い分野に対しても支援するため、独自の規則や要綱を制定し、多様な要望に対応しているところである。今後、これまで通り、特色ある事業については個々に規則や要綱を制定しながら、特定の業種だけではなく、あらゆる分野を視野に入れ、公正かつ効率的に実施し、それ以外の事業に対しては、現行の振興補助規則を基に対応していきたい。



## II 補助金等 交付基準の策定

**Q〔寺崎議員〕** 町行政の推進上、奨励すべき事務又は事業を補助対象事業とする場合、一補助対象事業当たりの補助率を定める必要が生じてくるが、現状では各課が統一性のない状況で運営されている。遠別町が交付する補助金の効率的・効果的な運用を図るとともに、補助事業者に対しても、補助金の交付基準を明らかにすることにより、公平性、公正性、透明性を確保し、より適切な補助金の交付及び執行を図るため、策定するものであるが、策定にあたって町長の考えを伺う。

### A〔笹川町長〕

本町の補助金等については、個々の補助金交付要綱において、事務手続き及び補助の対象となる事業内容、団体・事業者等を規定しているが、補助金等の交付に関する統一的かつ明確な基準となるものがないため、補助対象経費等ばらつきがあることも事実である。また、補助等の長期化による既得権化の傾向があること、交付の判断基準がまちまちであることや、具体的な効果が見えにくいものなどがあることなど様々な課題がある。しかしながら、

町行政の代替的又は補完的性質の強い事務・事業及び町行政に密接な関係を有する事務・事業への補助率の統一化・事業者の仕分け等は庁内組織の横断的な協議が必要であることや、対象となる団体等の意見集約が必要であり、ある程度の時間を要することとなる。将来的には補助金等交付基準の策定は必要と思うが、現在の補助金等交付の状況をしっかりと検証しながら、効果的・効率的な運用を図っていくことが重要なことと考えているが、他自治体の交付基準に対する取り組み・策定状況を調査研究しながら検討していきたい。



# 平成30年度遠別町各会計予算審査特別委員会

## 敬老会の内容の検討を

【山本委員】

Q 敬老会の余興の内容は歌を聴くというのがメインになっている。年に1度、高齢者が顔を合わせる機会であるので、会話も楽しみたいという声がある。内容を再度検討しては？

【笹川町長】

A 回数を重ねてきた敬老会について、こういった形が一番、皆さんに喜んでいただけるか検討をさせていただく。



## 「農林水産業費」

### 新規就農者の予定は？

【木村委員】

Q 農業次世代人材投資事業における新規就農者の予定として5年間で3名の計画をされているが、今後の予定と農業経営の指導の方法は。

【原田経済課長】

A この事業の対象者は3名で平成27年度から平成31年度まで1名、平成28年度から平成32年度まで1名、平成29年度から平成33年度まで1名となっており、指導方法については農業経営者から指導助言を受けている。



現在の老人福祉センター（4月20日撮影）

【橋本総務課長】

A 主な増額要因として、「アンテナショップ広告・PR」を充実させる費用と「高校生のPR活動費用」として、札幌で行われるイベント等に生徒を派遣する費用を計上した。

## 「民生費」

### 老人福祉センターの

### 今後の活用は？

【寺崎委員】

Q アクティブシニア多世代交流センター開館による、閉鎖後の老人福祉センターの利用はどのようにするのか。

【佐藤福祉課長】

A 建物自体はしっかりしているので、十分建物としては使えると思う。ただ、配管関係は老朽化が進んでいるので、改修が必要と思われる。今後の使用については今年度、内部で協議を進める。

## 遠別農業高校への関心は高い

【小森委員】

Q 遠別農業高等学校活性化プロジェクト推進事業を行ってから遠別農業高校の評価も上がっている。平成30年度予算について、平成29年度より増額された理由は？

【橋本総務課長】

A 平成29年度は社会教育事業に特化した試行ということで事業を展開したが、検証の結果、利用者の声として「老人クラブの活動等にポイントが付与されたので良い」、「社会参加活動の促進にマッチしていない」など賛否両論の声があり、内部で検証・協議した結果、今年1年をかけて、再度制度設計を行い、平成31年度予算計上に向けていく。

## 一般会計

【総務費】

### NPO地域おこし協力隊の

### 自主事業として

【中村委員】

Q 地域活性化推進事業について、事業の見直しということで「高齢者の日常生活に関する支援」、「町内会等への支援」が削除された。この理由は？

【橋本総務課長】

A 平成30年度については高齢者の見守りの件数が減ってきている状況で、業務委託から外し、NPO地域おこし協力隊の自主事業として、社会福祉協議会と連携の中で継続していく。

## 事業検証し、平成31年度から

【柏谷委員】

Q 平成29年度に予算計上されていた行政サービスポイントトリアル事業が平成30年度に削除された理由は？

〔教育費〕

補助金の増額要因は？

〔柏谷委員〕

Q 遠別町民大学運営委員会事業補助金、遠別町文化協会補助金、遠別町ゆかりの地と交流事業補助金、それぞれ平成29年度と比較して増えているが、その要因は？

〔柳井教育次長〕

A 遠別町民大学運営委員会事業補助金については設立30周年を迎え、記念式典を開催するための増額、遠別町文化協会補助金については設立50年で記念事業を実施するための増額、遠別町ゆかりの地と交流事業補助金について平成30年度は遠別町から福井県越前市に訪問する年で増額となっている。

一般会計に対する付帯意見

「遠別町・天塩町共同斎場建設事業においては、天塩町と十分協議のうえ、建設工事費の削減に努めるとともに、道の駅整備事業については、運営に最善を期されたい。」

国民健康保険特別会計

平成30年度から北海道で

〔寺崎委員〕

Q 保険給付費で葬祭費については改定されている。それ以外に平成30年度において北海道で運営することによって、被保険者の給付に変更はあるか？

〔佐藤福祉課長〕

A 平成30年度における変更はなし。

議員出席状況

平成30年2月1日～平成30年4月30日

区分 議員名	定例会・臨時会							常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤								
	開催 日数 ①	出席内容			欠席内容				総務 産業	文教 厚生	議 会 運 営	全 員 協 議 会	議 会 報 発 行	議 会 改 革	予 算 審 査	開 催 日 数 合 計 ①+③ ⑤	出 席 日 数 合 計 ②+④ ⑥		欠 席 日 数 合 計							
		全 日 出 席	遅 刻	早 退	出 席 日 数 計 ②	慶 弔	病 欠	そ の 他												出席内容				欠席内容		
																				全 日 出 席	遅 刻	早 退	出 席 計 ④	慶 弔	病 欠	そ の 他
西畑 広男	4	4			4				10	10			10			14	14		100.0%							
中村 光年	4	4			4				11	11			11			15	15		100.0%							
山本 仁美	4	4			4				9	9			9			13	13		100.0%							
柏谷 美春	4	4			4				10	10			10			14	14		100.0%							
寺崎 邦昭	4	4			4				8	8			8			12	12		100.0%							
木村 秀雄	4	4			4				8	8			8			12	12		100.0%							
千葉 光悦	4	3			3		1		8	5			5		3	12	8	4	66.7%							
大石 幸夫	4	4			4				8	8			8			12	12		100.0%							
小森 嘉孝	4	4			4				11	10	1		11			15	15		100.0%							

あしがき (山本 仁美)

昨年11月から降り続いた雪が根雪となり、街の中にはたくさんの雪が積み上げられ、排雪作業が追いつかず、苦勞された方も多かったと思います。1月、2月の猛吹雪では、数回、国道が通行止めとなり、地震や津波ばかりではなく、こうした吹雪も大変な災害になることを思い知らされました。私達は天候の変化や、道路情報などしっかりと確認して行動することが必要だと思ひます。

そのような中でも、確実に春は近づいております。そして、その季節の中で3月は卒業という1つの節目を迎える若者達の新たな旅立ちに心からエールを送りたいものです。今年、元号が明治に改元されて150年、また、北海道命名150年という節目の年であります。明治、大正、昭和、平成と歴史を繋いできましたが、いよいよ来年4月30日の天皇陛下の御退位をもって改元されます。私達議員も4年任期の最後の1年となり、将来の遠別町を次の世代に繋いでいけるように町の総合計画である、第6期遠別町総合計画に基づき、魅力あるまちづくりのため、全議員で協議をしながら進んでいきます。これからも町民に親しまれ情報提供・情報公開・説明責任の重要な役割を果たす有効な議会報となるよう努めて参ります。

議会報発行特別委員会

委員長 中村 光年  
副委員長 小森 嘉孝  
委員 山本 仁美